



2023年

先生のための夏休み経済教室

8月21日(月)9:30~

慶應義塾大学 + オンライン

開始までしばらくお待ちください

主催：経済教育ネットワーク／株式会社東京証券取引所／
株式会社大阪取引所（日本取引所グループ）



注意事項

Zoom参加者は名前を【学校名・団体名＋氏名】にして
ご参加下さい

(例) 東京都立農業高等学校 塙枝里子

講演時はミュート（顔出しは任意）でご参加下さい

質疑・コメントは随時チャットでも受付ます

配信トラブルなどはチャットにてお知らせ下さい

はじめに

本日の主催者

経済教育ネットワーク(Network for Economic Education)

株式会社東京証券取引所／株式会社日本取引所グループ

その他多くの後援を頂戴しております

本日のプログラム

- I. 講演「経済学ではこう考える」
- II. 講演「現代の金融政策をどう捉えるか」
- III. 講演「財政政策の背景にある考え方」
- IV. 討論
「経済学習のパラダイム転換のストラテジーを考える」

I. 講演「経済学ではこう考える」
慶應義塾大学商学部 中島隆信 教授

質問者：千葉県立津田沼高等学校
杉田孝之 先生

II. 講演

「現代の金融政策をどう捉えるか」
同志社大学経済学部 鹿野嘉昭 教授

質問者：大阪府立三国丘高等学校

大塚雅之 先生

III. 講演

「財政政策の背景にある考え方」
日本大学経済学部 中川雅之 教授

質問者：神奈川県立三浦初声高等学校
金子幹夫 先生

IV. 討論「経済学学習のパラダイム転換の
ストラテジーを考える」

東洋大学文学部 栗原久 教授

杉田孝之先生 大塚雅之先生

金子幹夫先生

討論の流れ（70分）

1. 栗原 久 先生より講演
～新学習指導要領で何が変わったのかを中心に
2. 1～3コマ目質問者である先生方からの提案
3. フリーディスカッション
4. フロアとの質疑応答

1. 杉田孝之先生より
講演「経済学ではこう考える」
を踏まえた提案

1 問いを授業設計、実践の中核に据える！

1. 授業者は経済学習で「問い(=なぜ?)」を持たせ続け、中島先生のように教材(内容)に本質性、具体性、関心適合性、発展性等があれば、「学びがいがある」学びに！
2. 「なぜ？」で1年間の授業を続ける… このためには？
3. そもそも授業設計は(単元、1時間の)内容、目標(生徒をどこまで引き上げたいか)、方法(講義、対話的、発表)が基本
→ 今に始まったことではないが…授業で継続して生徒に問い(=なぜ?)を用いて考えさせ、生徒にも問いを持たせる意義(と課題)

2 単元や1時間を貫く問いを、授業の流れで大きな問いから段々より小さく、具体的に焦点を絞った問いへ

1. 公正で自由な経済活動のためには、何が必要なのだろうか？
(より大きな問い ← 経済単元全体の問い)
2. 公正で自由な経済活動を通じて、市場が効率的な資源配分を実現できるのはなぜだろうか？ (大きな問い ← 市場単元全体の問い)
3. もし商品やサービスの価格がなかったら…？ (中くらいの問い ← 市場単元導入の問い)
 - ① コメの価格がなかったら？ (小さい問い ← 市場単元導入の問い
以下同様)
 - ② かつて価格がなかった時、どのようにコメを獲得していた？
 - ③ ①、②の意義と短所は？

2 単元や1時間を貫く問いを、授業の流れで大きな問いから段々より小さく、具体的に焦点を絞った問いへ

4. **市場が効率的な資源配分を実現できる前提条件とは？** (中くらいの問い←市場単元展開の問い)

- ① **完全競争の条件とは？** (小さな問い)
- ② **①をふまえると完全競争の市場は現実にあるのか？**

5. **完全競争市場と現実の市場の違いは？** (中くらいの問い←市場単元展開の問い)

- ① **(4)②はありえるか？**
- ② **①だとすると…コメの価格はどう決まる？**
- ③ **価格はシグナル！ 例えはどんなシグナル**
- ④ **(モデル上のコメは同質が前提だが…)
さまざまなコメの価格があれば…？**

2 単元や1時間を貫く問いを、授業の流れで大きな問いから段々より小さく、具体的に焦点を絞った問いへ

6. 市場機構の限界とは？(中くらいの問い←市場単元展開の問い)

- ① 完全競争市場はモデルに過ぎないから…
- ② 市場ではどんな非効率な現実が起きている？
- ③ ②をさらに詳しく市場の限界(=市場の失敗)はどんなことが起きているのか？
- ④ ②、③が現実なので、市場の限界(=市場の失敗)にどう対処しているか？

7. ふりかえり～市場機構の効率性と市場の限界で分かったこと、分からなかったことを、以下に焦点をあててまとめてみよう～

- ① モデル上の効率性では？←完全競争市場が前提だが→過不足が生じないと？
- ② モデルの市場ではなく、現実の市場の有り様は？
- ③ ②で登場するのは？
- ④ 登場する主体は常に失敗しないのだろうか？
- ⑤ ①～④を参考に、自分なりの言葉で分からなかったことを、問いの1文で書いてみよう！

2. 大塚雅之先生より
講演「現代の金融政策をどう捉
えるか」を踏まえた提案

I 具体から抽象へ

1. これまでも社会科の授業では具体的な内容から抽象的な内容へと進んでいくのが基本であった。
2. 一方で、金融の単元の教科書記述はかなりの抽象的なものとなっており、進学校の金融政策についても難しい。
3. 公共では、これまでも以上に具体的な問いを設定するところが重要視されている。具体的問いを設定させる必要がある。

1 金融に対する問い

1. 比較して考えさせる問いを用意する。比較しないと考えることができない。その仕組みがある場合とない場合とを比較させる問いを設定する。

・ **もしも、お金がなかったらどうなるのだろうか？**

→ 交換手段、価値貯蔵手段など貨幣の機能を考えさせる。

・ **もしも、奨学金という仕組みがなかったらどうなるのだろうか？**

→ 金融という仕組みが個人の選択肢を増やしていることを理解させる。

・ **もしも、日本銀行が物価を安定させないとどうなるだろうか？**

→ 物価が安定しない不確実な状況では取引が成立しないことを理解させる。

1 金融に対する問い

2. 問いのために、具体的な事例を用意する

事例1 真面目な弟と酒飲みの兄

勤勉で貯金をしっかりする弟と、ほとんど働かず毎日ビールばかり飲んで空きた瓶を捨てない兄がいる。ある日、兄がインフレーションでビール瓶は高価買取され、兄はお金持ちになった。一方、兄の貯金は紙くずのようになってしまった。

問い もしも自分が弟だったらどう思うか

→ 不公平で納得できない

問い このような状況が起こると社会全体にどのような弊害があるか

→ 真面目に働かない、貯金しない、取引が成立しない

問い このような状況を生まさないためにどのような仕組みが用意されているか

→ 日本銀行の金融政策

1 金融に対する問い

2. 問いのために、具体的な事例を用意する

事例2 マンションのベビーシッター券

あるマンションでは子育て世代同士でお互いにベビーシッターをするために、ベビーシッター券を各家庭に配布するという取り組みを行っていた。しかし各家庭ともベビーシッター券がなくなるのが嫌で仕組み自体がうまくいかない。

問い 皆がベビーシッター券を使うためにはどうしたらいいか

→ ベビーシッター券をもっとたくさん発行したらいい

問い 金融政策でも同じことが言えるのではないか

→ 貨幣量のコントロール

1 金融に対する問い

3. 生活実感に根差した問いを用意する問い

問い なぜ銀行員はスーツ、銀行の支店は基本的にどこでも同じサービスなのか？

→信用を重要視する仕事だから

問い お札を1枚作るのにいくらかかるか？

→数十円であるにもかかわらず、なぜ一万円として使われるかを考えさせる。

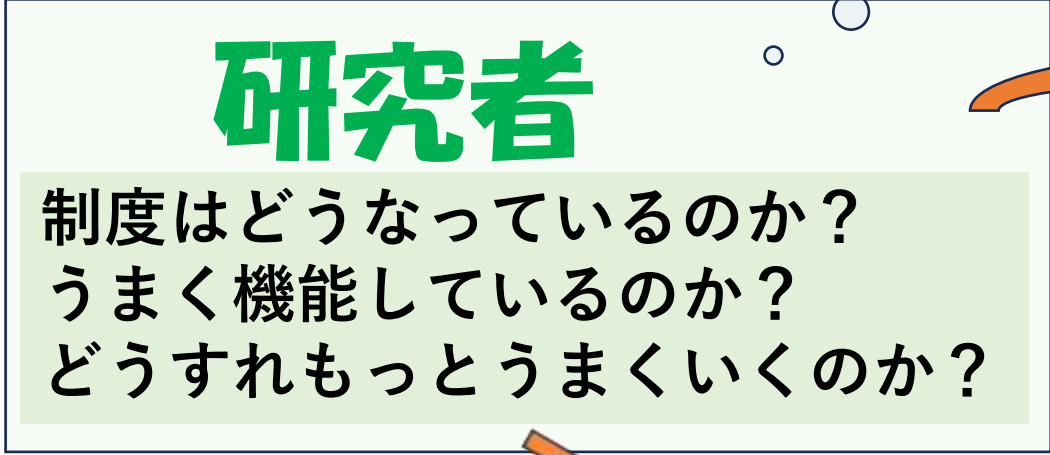
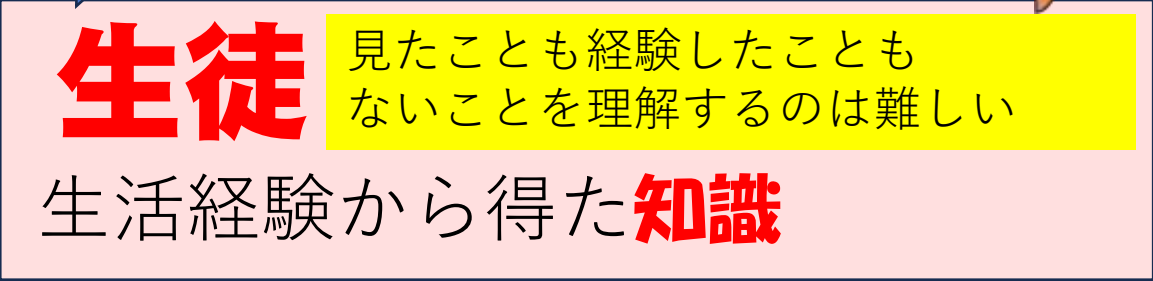
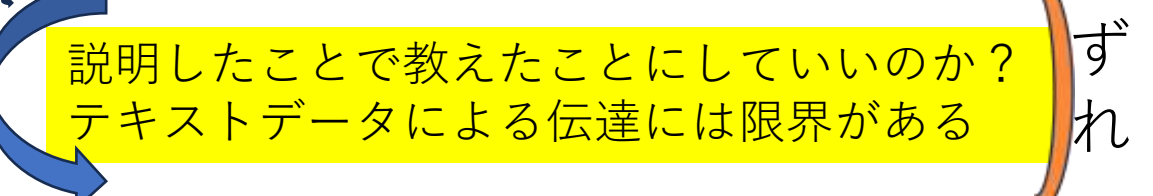
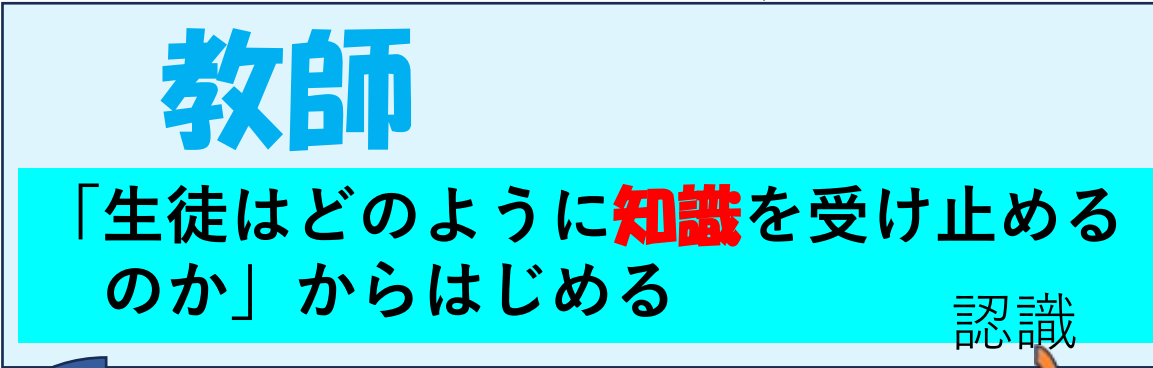
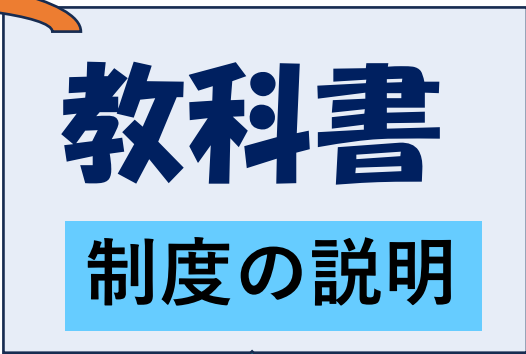
問い アルバイト先から給料をどうやってもらっている？
現金以外でモノはなぜ買えるの？

→世の中の取り引きのほとんどは預金であること、銀行が預金量を増やしていることを考えさせる。

3. 金子幹夫先生より
講演「財政政策の背景にある
考え方」を踏まえた提案

財政制度の背景とは？

金子幹夫 (神奈川県立三浦初声高校)



ずれ
認識

像の構築

なぜ若者は参画しないのか？
知識が不足しているからか？

特定の空間を構築できるので一瞬「ずれ」の幅が狭まる



具体的な問い スタート

私たちが納める税金
って、どうやって決
めているの？

納めた税金の使い道
は誰がどうやって決
めているの？

その決め方って
絶対に正しいの？

誰かチェックしない
の？

使い道を決める人た
ちはそれを決めるだ
けの情報をもっているの？

使い道を決める人たちは
本当に社会のことだけを
考えているの？

私たちは使い道について
意見を言うことはできないの？

そういう私たちって、みんな遠
い未来のことまで心配している
のかな？

現在のことを中心に考えている
人たちの関心を未来に向けるっ
て難しいことなのかしら？

未来のことを考えない人たちに
罰則を！これっていいのかな？

ここまでの
問いについ
て、教科書
のどこを見
るとヒント
が隠されて
いるのか
な？



おわりに

1 時間目の中島先生のご講演のエッセンス
理論と現実の対話を通じて自分の頭で考える楽しさを
伝えること

具体⇔抽象

例) 牛丼・ラーメンの違い (差別化)

なぜ合格祈願をするのか (確率加重関数)

⇒ **生徒に身近なテーマから抽象度の高い概念へ**

おわりに

2時間目の鹿野先生のご講演のエッセンス

銀行の機能、証券会社の役割、金融政策の実態。進化する貨幣の形態（キャッシュレス）などがありました…

例えば、教科書に掲載されている信用創造を実態ではなく

思考実験と捉え、**教科書の内容に多くの前提条件があることを教師が認識しておく必要がある**

⇒ **抽象度の高い教科書と現代の諸課題を身近な問いで繋げる**

おわりに

3時間目の中川先生のご講演のエッセンス

財政について**制度を覚える単元に終わらせない**

(例) ○ ○ ○法、憲法29条財産権・・・

なぜ、政府の役割が必要なのか

例えば、**公共財ゲームを用いるなどして実感を持って理解させることができる** (Fehr and Gächter, 2000)

これに**私たちも投票によって参加することができる**

⇒ **実感をともなった工夫で自分ごと化することが可能**

おわりに

4時間目の栗原先生のご講演のエッセンス

「経済的な見方・考え方を働かせる」とは何か

現社と公共の違い

～新たに扱われるようになった概念を中心に

深い学びのための「具体的な問い」とは

⇒ 「分かった！」を支援する経済学習を

経済の授業をアップデートしよう

本日のテーマに共通していたこと

現象や問題について背景にある本質に辿り着くには
なぜ、どうして、どのように？という問いを考える必要
そのためには身近なテーマや問題を取り上げ
教科書と実態を埋めるのが教師の力の見せ所になるのではないか

⇒ 私たち自身も生徒とともに学び続けましょう…

本日はありがとうございました

アンケートのご協力をよろしくお願いいたします